

大学訪問

読者レポート②

島根県立大学

江津高校
ブリコちゃん(1年生)
サヤカちゃん(1年生)

こんにちは。
大学訪問はとても楽しく、そしてタメになりました。

2月6日の夕方私たちは島根県立大学に行ってきました。

二人とも、短大時代二年前までは国際短大には行った事があったのですが、県立大学になってからは初の訪問でした。

初めはどんな所か、どんなことを話せばよいのか不安があったけれど、実際にいって



みると県大の学友会のみなさんはとても優しく、親切に対応してくださいました。

まず自己紹介をし、その後

色々な話をしました。出身地を聞いてみると、福島県など遠方の方も居られました。もちろん浜田の方も。

自己紹介を終えた後、とても楽しい雰囲気の中、大学の方針や大学

していただきました。授業を受ける教室の黒板は電動でした。そしてその黒板が全部上にあがれば、巨大スクリーンに変化し、そこで写真や資料を見ることができるようでした。かなり大きい講義室もありますが、この大学の特徴の一つが少人数の授業で、20人程度の小さな教室がたくさんあります。メディアセンターにも案内してもらいました。図書館やパソコンの研修室があるところ



パソコンをインターネットにつな

のたたくさんの人がパソコンに向か

廊下はとても長いです。大学自体が大きいからでしょうが、授業と授業の間の休み時間を全部移動に費やす事もあるそうです。高校とは本当にスケールが違うなあと思いました。今回、県大の訪問ができ、本当に



学内は広いので、案内板を見ないと迷いそうです。



夕方なのにメディアセンターには学生がいっぱい。



と高校の違いについて聞きました。

総合政策学部は、経済、政治、語学などの基礎を学び、総合化して社会の課題につ



いての対応を勉強するところだそうです。新しい大学なので卒業生はまだいません

県大の特徴を聞いて一番驚いたのは、パソコンのこと。パソコンは、全員が持っておられるそうです(入学時に買っらしい)。で、大学からの色々な連絡や、レポートなどみんなメールで行われています。先生にメールですが、ほとんどはメールで行われているようです。



広い敷地内には大小さまざまな教室がいっぱい。

学食は、天井が高くオシャレな雰囲気でした。



次に驚いたのは、高校のような中間期末テストがないこと。科目によっては試験の代わりに、レポートをまとめるものもあるそうです。テストが少ないのは、羨ましくも思いましたが、レポートは自分で頑張らなければならぬので大変だなあと思いました。話を聞いた後、学友会のみなさんに校内を案内



良かったと思います。大学は広くてキレイ。そして学友会の皆さんも親切で楽しかったです。本当にみなさん力「良かったです。とても進路の参考になりました。こういう機会があればまた行きたいです。」



島根県立大学

浜田市野原町2433-2 TEL.0855-24-2200
http://www.u-shimane.ac.jp/

総合政策学部(定員200名)

「諸科学総合と社会における実践」を建学の理念として、県立国際短大を4年制として2000年に開学。実践的な語学力とコンピュータ能力の養成にも力を入れています。